

SUPERIOR NOTE BOOK



THE SMOOTHNESS OF THE PAPER GUARANTEES SATISFACTION.
DESIGNED BY YOUNG MEN FOR THE YOUNG.

観測所日誌(2)

1985. 8. 12 ~ 1985. 12. 31.

1985. 8/10 ~ 8/12 (月)

市村

8/10 夜 10時頃到着。途中下車して空を見上げると、すごい天の川。心はほろほ
せて観測所に向かうが、すぐに雨。晴れ、雨、曇り……。何という天気だ。

前まで来てびっくり晴天。すごい。建物が、ちゃんとあるではないか。40cm E
あるではないか。これが私たちの観測所だ、と思うと感激です。

10日の晩は、総会の前祝いの [] さんのスーパードリッパにあてられてか、空は顔も
見せてくれません。木沢さんも、ホルテージが上昇して……。みんなつぶれてしまった。
明け方近く、40cm E 月をのぞいて寝ました。

8/11 は 雨がふりやんだり。夜は全くダメ。

8/12 明け方から晴れはじめ。夜明けとともに **快晴**。午前中も晴れで——。
午前、卒業生が勿来子で来るといふので、ふかえに行く。

卒業生を連れて、海へ行く。

午のくに海をむかして、夕方、5:10 に観測所着。

食事をしてから、浄土平へ向かいます。OBと生徒で、星空パーティーをするの。
私も行くのです。(でも、ホントは、私が主役です)

8/24 ~ 27 にまた来ます。誰かいて下さい。ひとりではルーフをあけられせん

[] さんが怒っています。横浜は、何と、晴れていなくてです。おそらく、これも、
夜半頃から、晴れてくるものと思われ可。私は居ませんが、幸運を祈ります。
40cm E 木星や土星を見るのは、次回にします。見たものは、お楽しみで。

年末には、少しカンパできると思っています。もっと充実した観測所になることを

by. Yoshimi.

1985. 8/11 ~ 8/12

8/11 午前 4:30 頃 大和市のアパートを出发. 変わりやすい
天候の中 "日立北" までの常盤自動車道はスムーズに走れたが
国道6号に合流したとたん. 渋滞. ようやく勿来より 289号に
分かれたが. 途中よりものすごい雨にみまわれた.

観測所が近づくにつれて. 雨もあがってきたが. 空はいぜんと
し. 厚い雨雲が低くたれこめている. 今夜の天気を気にしながら
観測所へ到着. 普通の一戸建とかわらないリッパな建物
ほとんど出来上がっていた. 雨の中. 田中さんがひとり軒下の塗装
をしているのが印象的でした.

8/11の夜は雨もふったりやんだり. 時々夜中に起きだして
空を見上げるが. 一向に回復する様子がない. あきらめて
朝までシュラフにくるまる.

8/12の朝は快晴になり今夜に期待を持たせたが. 昼頃より
雲が広がり始め. それも段々と厚くなってくる. 居残り組の
西村さん. 市村さんと 350型赤道儀の調整 - という聞こえは
いいが. イジクマワスと言った方がいい - をしている. 突然!!
赤緯軸が何の反応もしなくなる. モーターの回転音は聞こえるが.
正転. 逆転のスイッチを何度抽してもピクリとも動かない. サア. 大変だ!
最新鋭をもて賜るミカゲ光機の 350型が. ブッゴワレタ!

とにかく中を見てみようということになり. 赤緯軸カバーをハズシてみる.
ステッピングモーターは正常に回転しているようだ. モーターギヤボックスと
それに続くギヤ平歯車も回転していない. 何ていうことだ. これでは
赤緯軸が動くわけがない. 悪戦苦闘の末. ステッピングモーターと
ギヤボックスをはずし. 中を分解してみると. ギヤボックス内の歯車の
ひとつが. エルンでいることが判明. 原因が ~~わ~~ わがってホッと一息.
つくど共に. この程度で "歯車" がエルンしてしまうのではという - ~~ま~~ ま
の不安も残る. エルンでいた歯車の止ネジをハクスキーで増シメして
組上げる. やしやし赤緯軸が動き出しましたよ.

納入2日目でのこの大トラブル. こりゃこの先何か出てくるか

判さんそと西村さんとギヤボックスを共にもどしながら話をする.

このトラブルのせい. 午後より広がり始めた雲が一向に消える様子
なく. 夜になって回復する見込みもない. 時々雲の切れ目から星が顔を
のぞかせるが. すぐ雲におおわれてしまう.

その雲の切れ目をついて初めて木星を見たが. シンチレーションがひどく
表面の文様の様子も今ひとつというところ. 市村さん達はあきらめて
浄土平へ向かう.

私と西村さんは観測室にシュラフを持ち込んで. 天気の回復を待つ
ついでに朝まで天気は回復しなかった.

8/13 ~ 8/15

8/13. 例により. 午前中は快晴が広がるが. 午後より又々雲が広がる. この
夏空の持ちようだろうか?

夜になって雲は消えず. 予定していた撮影計画も. ぜんぜん進まない.
ようやく14日午前2時半頃になって晴れてきた. 私と西村さんは. さっそく
40cmを操作して. 目ぼしい対象を視野に導入しようとするが. 主鏡に対
して. あまりにもアアなファインダーのため. なかなかうまく目標がキャッチでき
ない. せめて8cm程度のガイド鏡がほしいと思う. まごまごしているうちに
月はよってくるし. 東の空は明るくなってくるし. "とうとうその日は満足に
観望することなく. 夜も明けてしまった."

8/14. 明方. 東天より昇ってきた金星をつか. て極軸の調整を始める.
ところが. 極軸の角度が. "いわき仕様" に製作されていたとみえて
極軸調整ホルトを限界まで調整しても. 極軸の ~~ま~~ またせきが合わない.
そのうち又々赤緯軸が具合が悪くなってきたので. とりあえず. 極軸調整は
中止して. 一部始終を田中さんと ~~判~~ さんに連絡し. 食事にする.

夕方. ~~判~~ 老海名の高橋さん一行と. 水戸の ~~判~~ さんが ^到 到着.
天気の方は久しぶりに夕方より星空が広がった. 私は自分の機材を

使用して、写真撮影……の予定だったが10時半頃より空がガスリ出し、とうとう朝まで一回もシャッターを押すことが出来なかった。

そして今、これを書いている15日の夜も空の様子とは思わしくなく、最悪の場合は、一枚も写真を撮影することなく、帰ることになりそうです。私は16日に帰ります。

あとには面村さんと、老海名の高橋さんが残ります。仕事の合間をぬって、秋になったらまた来所する予定でいます。そのころには空の方も、もっと安定していることでしょう。

8/16 (金)

8/11 ~ /16 のズーツにあきませず、観測所にいます。空の方は、全然30日中は、ハズ太陽がエテ調子は良いのだが、夕方になるとせせら風が出てきた。昨夜(15日)、FIC-125 + 10リクスティングで土星も20コマ程、シャッター1枚、ただけ。フローライトは像がシャープで、非常に安定した像を見せるので、保持が良い。カッシーの向陽が、土星のワック全周にわたって色で見える。ハートは中央部分の北赤道帯(NEB)が見える。40umで土星も見た。その間に大気は充分に有るので、10-10%を用いた。土星本体が、まぶしく見える程だ。ただ、筒内気流(?)でもおそろしく、シャープさが、いまいちである。アコースティックも変化した。ただ、木星で、一度、小る11匹のスイッチの様に見える。7.1には、M-42、オリオン大星雲は、果敢力があつたので、そのまぶしいなから、倍に30、以上の口径だと色がわかると、薄く見えるが、先入感を持って、まぶしく見えるが、フルーとローりに見ようとした。40umのAA型露は、まぶしい円形。光線系に肉づき、昨夜まぶしい、まぶしい。27. 機械系が、まぶしい。問題は、まず、赤緯エラーは、向陽なし。赤緯エラーの中心ボックスマネジのユルミを疑念、これは無事件。理直。でも、時々、赤緯が動くようになった。この段階で、我々(西村)での分解・修理を要する。東京の岡井氏と、世に連絡。世と相談の上、土、日に、世が、赤緯時に修理、検討することになり。よ、赤緯型赤緯件、相軸台色、まぶしい。そのコン(ネジ)が、まぶしい、まぶしい、まぶしい。

赤緯儀に用いた問題が、山積み、まぶしい。

この夏は(赤緯?)天候不調。世は、一コマを撮る、まぶしい、まぶしい。小生も、月曜日の午前中まぶしい、まぶしい、まぶしい。

8月14日(水) ~ 17日(土)

14日 AM 7h40m 出発 9h00m 2台の車で
観測所へ向う。() () () () ()
首都高渋滞の為PM7時ごろ到着する。
疲労の為PM11h30mで観測を終え、就寝する。

15日 AM 10h00m 勿来駅に学生() () () ()
() を送るに行く。
その後、勿来海水浴場で泳ぎ、温泉に行きPM
7h00m まで。
夕食後観測、雲の晴れ間を待ち土星、木星、
M31、M45、M42等を40cmと12cmフーライトで見ると。
16日 AM 4h00m 観測終了、就寝する。

AM 11h00m 起床、食後観測所1階の土盛り
観測所のまわりにジリをまく作業を手伝う。
夕方、恒例の合唱と花火大会を行う。
夜、晴れたので予定していたカラー撮像管のテスト
を行う。40cm鏡使用による限界等級は6等で
した。木星とガリレオ衛星もビデオに録画、色は
淡く、縮模様(3-4本)が色の違いで確認できた。
土星は、輪と惑星本体が中心で分離できず、ガリ
レオが見た土星よりは良いかなというところだ。
前日同様、M31を観測、こと座のリンクの中心星
(13等)は確認できる。残念

17日 AM 8h00m より 2h30まで 西村さん、
さん、さん をまじえ懇親会を行う。

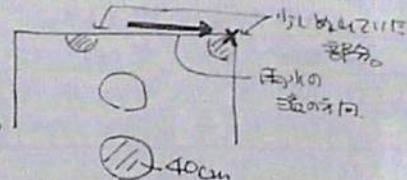
AM 9h00m 起床 食後、勿来へ学生を送る。
PM 3h00m 帰路につく(予定)

海老名天文同好会と大学のせし合宿で10名をっれて来ました。
大変実りあり、楽しく過ごさせて頂きました。

8月31日(土)
9月1日(日)

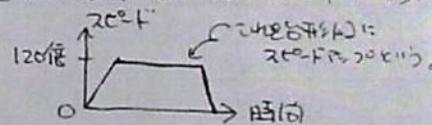
8時30分(PM) 新指南0147-11にて④DAと会う。
9時前(11)ア-11を出て、11h30に向かう。
12時半まで到着。

30日の台風の影響で観測室の天井が一部に雨がこぼれた。どうも、この天井から
水が出たらしい。



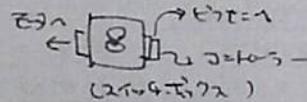
早速運ばれた1Pに(PC-880mkII)、
E7Eのスケイターと観測室へSetting?
E7Eのスケイターの4mmで行う様に。
④DAから見たのと同じコントラストの倍率120倍と10倍に変更した。
(どうも120倍だと早すぎて、X-11の人がついていけなくてしょうがない) (11) (11) (11)
台形白にスピードが、それより速い(問題ない) コントラストは、3-3mmの
制御は行っていない。

5分ほど、スケイターを120倍に改造してあげた。台形白にスピードが、それ
より速い。4mmに問題はないと思う。



この改造でコントラストは、
約1~2倍程度に変わります。

そのコントラストを自作コントラストとスケイターから行うため、セッティング
を行う。スピードが速い状態
状態で、コントラストとスケイターの
調整を行う。



以前、スピードにも関わらずに同じ調整を行っていたが、問題なく終了。
11h30の時、スピードが速いので、コントラストの調整が完了。
その後の調整で、スピードとスケイターを調整して、コントラストの調整
を完了した。2mmと4mmの調整は、調整が完了した。

スケイターは、1Pに接続して、Telescope Control用の
調整の700Vを動かす。
調整、動作4mm70V。また11h30に変更した部分もあるが、
よい感じに変わります。

本日は、実験に思ひ付かす、4mmの^目だが、5mmに(の)せいの^目不可。

車を直して、田中さんとモキ^ン操作を行う。(朝4時頃)

- (1) 37° 75' 21" にして。
- (2) 基準星を10711に近づけて導入する。
- (3) スカイスケールをセット。2007年9月2日 2時 14分 (時計の11-2位置の位置を)。 (または、観測前に行う。)
- (4) 75' 21" 500 にして 2007年9月2日 2時 14分 を止める。
- (5) 10711の位置を a ra de 導入。
- (6) 11-2位置 距離のマーク (R) 導入。
- (7) 11-2 距離。
- (8) 成功 888 (RFL. 2007. 9. 2. 2時 14分 500)

とこの結果。 9月15、16日には、実験に導入して、田中さんと話し合う。

田中さんが11-2の位置を、特に、T-2の位置の件と、T-10-3のマークの件。

と、その部品を交換すること。赤十字のAC-7のマークの交換。また、AC-7のマークが不同と別々にする。

その後、~7時頃まで話し合う。

同日 (12時頃?) まで、観測室の後の室へ移動。

観測室のマーク。その位置を判断する。

T-10-3の最終check を行う。その後、11-2と、観測室の後の室へ移動。11-2とスカイスケールによる位置の交換は、この室から行うようにする。

最後の整理をして、11-2にする。特に、スカイスケールは、交換して行うため、特に、21-2にする。

Sept. 1, 1985.

T. Kuzushima.

(以前、同様の。 (特に、一部、観測室が同じ。))

P.S. 11-2位置の9月1日~14日までの位置の計算表を提出する。

田中 [redacted] 1985. 8. 31 ~ 9. 1.

観測室の時々の雨。前述のように、[redacted] さんと、スライダの接続のため、来所。

8月末には、やはり、[redacted] さんと、明け方頃には、寒く感じられる。

[redacted] さん自慢のスライダコントロールは、11-2の頃、今度の新月頃、11-2のマークに向けてくれることになった。

来週の土曜日には、[redacted] さんと来所の予定

作業予定

- ・赤十字のマークの取付。 ([redacted])
- ・観測室のマークのマーク (マーク) (田中)
- ・極軸のセット。
- ・35mmカメラの設置とテスト撮影。

お人柄が欲張ってもなかなかで"きはない"。このへんにしてあげる。

観測室内部に、赤十字のマークにも問題が多いが、じっくりやっていく (かな!)

40mmの接眼部をカメラアダプター製作のため、持って帰ります (9月1日、14:30)

9/15

外は雨

西村

14日、夕、南千住集合。七時JOSTに出发。
 順調に、9時20分、観測所着。この直轄のR299は恐ろしい！
 土、10→金剛で、30分ほど見もある。いつか、雲、固く見るとは
 感じ。セカで、全天、ペダカネリ。例によって酒を飲みはいる。市村は
 田中さんより、Tel有り。小幡は雨。身置屋は良す。11時すぎ、市村は、子供
 2人とともに到着。花火なにも上げて2時前、ピタリと。

この、なせか、11時でいた。
 15日は、9時起床。園まで、キアボックスを取り付け、調整。
 11時、2時30分、向未着の特選。着。朝、昼兼用で食事。
 植田の1-3-キアボックスの食料の搬出し。観測所、5時着。田中
 さん、10分程前に着の事。夕刻、R299とR299の調整も書き出し。
 5時着。

もう、朝3時。おぼろし月は見えず。5時着。

9/16

同上。

1ヶ月ぶりのいけきも雨。なかなか晴れてくれない。
 素晴らしい崖空をみせてくれるのは、いつなのかなあ。
 観望しがない私は、雲は"ヒマで"何もすること
 なく

がなく(他の人は、架台の修正をしている)、ぬているは"が"。
 また夜になれば"酒盛りで"何をしにきているのか
 と自分で思うくらいだ"から"他の人には、自いめでみられる
 のが"つらい。"

いけき天体観測所は、スナックいけき天、なのだろうか?!
 早く観測所として稼働するよう祈る。

9月16日(月)

14日夕方、南千住まで出発。今回の目標のキアボックス
 取付けの左の束所。14日夜に曇って350型の
 調整は出来ず、例によって例のごとく、市村さん
 1-2-4で送って行かされた。

15日、これでいいかん!と思っ、キアボックスを取付け調整
 終了。1時頃、このとこにたどり着く。

危ない！と帰ると田中さん到着して、おぼろし

350型と前のいろいろ話していろいろと、市村側のエコーを取

用のキアボックス?に自由要台を付けて置く...

帰りの荷物が多量に重く、来た時は市村さんの車で

4人であつたが、帰りは5人になる。運転はコワイし

座席はきつい。安全運転を願う!!

9/16

すべて同上。来た時は4人乗り、帰りは5人

経済的だが、パワーが足りない

モア パワ ————— せ!

10月10(木) <色> 一時晴

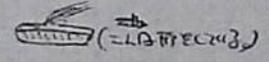
今回は 350 赤道儀に雲台を付けたので 350mm x 300mm 撮影を... と思っていたのだが...

パソコンは 反乱を起すし 赤道儀は 恒星時遅延さし ない。空圧電圧 量は 異なり... 今回の何となく 来たのかと言うと 観測日記と ビールを飲むために 来たのだ (本意は 書くに 余力が 大さくなったので これをやめたおかげ)

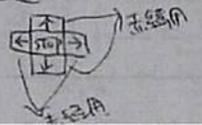
でもほんとに ハレーをこの 350 で 2ルムに 押し込めようが 心配な気がする。プロセッサ 4-4 と ついて 基本仕様 が 4でも動く様を 状態は 472 リンクをいじると "ガスの赤道儀 350" を 返上 出来る様 頑張つて 下さいね!!

(右ページからのつづき)

マニアルのコントローラは 1個曲で 直し 西村さんに 預けて "いい感じ" に 持ってきてもらう予定があるが、もし 万が一 使用出来ない場合、スカイセンサーを コントローラとして 使わせて下さい。使い方は 2つの通りです。



- ① コントローラとつながる RC-232C のコネクタ (25ピン) は 両方、電源部と一緒に 望遠鏡のところに 挿入する。
- ② 電源 ON。これで OK。スカイセンサーは 恒星時遅延と同じ。(赤道儀 終了の 40分が 25分 まで 延長可能)
- ③ 倍率は 2倍速で。スカイセンサー 中央の 矢印を 押せば 倍速になる。



矢印を 押している間は 倍速になります。矢印の stop は 倍速が 止まります。

10月12日(土) ~ 13日(日) <色>

6時^{30分} 新宿(南口)に アールで 田中(西) さんと 待ち合わせ。西村君 + 来訪予定の ことであつたが、何の連絡も ないまま 翌日... 6時40分 出発。10時40分 付近には 11時までに 到着。(途中 急ぎで 30分 遅延あり)

今回は 色から 連絡のあった ① コントローラの 異常の 調査/修理、② スカイセンサーからの コントローラの 異常の 調査/修理、③ 田中さんに 故障の 歳差補正を 考慮して フォトリソ コーティングを 行う。

① コントローラの 異常は コントローラ内の ハードウェアの 接続が 悪化した ために、異常発振 (FEEL) であることが 判明。修理して 無事 異常発振は 止まった。FEEL 恒星時遅延の スピードが 遅延している。目盛環で 4mm して 1min / 1分の スピードで 取り直したので、この スピードで 取り直した。周波数 50Hz の IC の 資料が ここに 11月 あり、特に 修理 済みの ことである。

② スカイセンサー (2ピン 使用時) からの コントローラ 異常は、前回 と 同様に 15-7L の 後処理が 悪化したこと、具体的には 15-7L の シリコンの 外被が 赤道儀の 基板 (7L) に 接触して ノイズを 発生させていたこと、及び スカイセンサーの コネクタで、赤道儀 コントローラ 間の 線が 剥がれて (15-7L の 部分で) いたこと があった。これを 修理して、無事 解決。

③ フォトリソの 処理が この 修正も 無事完了。主な変更点は 以下の通り。
(a) 歳差の 補正を行っていたこと。FEEL 入力 1950 まで 設定して、修正

- (b) 表示に、高度、方位の 情報を 追加。
- (c) 望遠鏡の setting (5コマ)、望遠鏡の setting (2コマ) 時に、補正前 (大気差 修正 済) の ra, dc と 補正後 ra, dc を 表示する ようにした。FEEL として rad/can の 単位である。これで 補正量 見極めやすくなる。
- (d) フォトリソの 前処理の 順序を 入れかえたため、x-c-2 の 出現順序 が 入れかえている。FEEL 入力から 5 の 操作は 前と同じなので、マニアル 通り 押せば OK である。

(左ページへのつづき)

10/20 (日)

屋敷人

10/18 19:00 君と南千住で待ち合わせ。全社が終わってから家より P-2 を持って 南千住まで向かう。機材を手持ちして歩くのはじめてなので、あまりの重さに途中幾度もイヤになりすてしまおうかと思うほどだ。天文は体力が必要だ。常日頃 きたえねばならんと思った次第。

22:00 頃 観測所に着く。あまり暗くない。観望のみして、流星の撮影は断念する。

あけがた 5時頃中止し、少しビール(君と2人で)をのんで帰る。こんなに寒いところでのものはじめてで、ビールが大好きな私ものみはじめてなのに時間がかった。こんな時間にビールをのものはじめてだ。

10/19 昨夜 牧場の方から懐中電灯の光が3つくらい飛び交ったのでその原因調査も含め 牧場の山をハイキングする。とて光の原因はわからなかった。一番高いところになると 音が少し見えすすよ！女のうまづらて おむすび(も5さん手製)をたべるのもよいゆてはないかと思いきや、昨夜途中ダムを見ぶすあ まあ よいところだ。

~~その後~~ 昼食、買物(ビールのつまみ)の為 勿来に降りる。で戻ってくちや寝る。

21時頃 地主さんの息子さん達がきてくれたが、屋があいにく出ていないので 見せてあげられずに残念。買物、望遠鏡の説明をただけにあわゆる。地元の人なので ぐみどりの問題などについて質問した。

12時前に西村さんおむかえに勿来へ降りる。馬に降りて 空を見上げた西村さん 思はず カックリ。その後 今後 車でむかえる際に勿来だと本数が少なく制約されるので、地主の息子さんに泉まで 15分で行ける(勿来から)という話をきいたので、泉馬尺の道 調査しに行く。植田馬尺も調査した(前に上野発 19:00 の特急が勿来から 植田にとまるようになったので) 帰って、あまりよくないので、ネル。西村さんは 何か一人でしていた。

10/20 9時過ぎにあきる → 12時頃帰るので。今回は金曜日に出たので、ゆっくり出来てよかった。また ステレオもあるので、気晴らしが出来るのでよい。いりき天体観測所には 音楽とビールが あれば... イヤ違った。屋と(今のところ出てないが)音楽とビール そして OOO が居てくれたら最高だ!

10/18~20

今回もあまり天気は良くなり観望しただけで終わってしまった。いわきは本当に晴れるのであろうが今回の行動については左ページを読んで下さい。

R289の入口から観測所まで前回の23分を2分短縮する21分だった。20分を切るのは可能であらうか。

20日 正午頃 オートバイルーム いわきを出発する予定。11月は月の関係でこれるのは1回だけになりそう。

1/20 ① 昨夜 8時30分 上野発 12時45分 到着 22時45分。

10月 3夜 新刊に 3夜とて、ほら、(エッセイが 大進!!)

② 4時 6時に新刊に 10月 5日 11日 改定 + 10月 11日 12日 13日 14日 15日 16日 17日 18日 19日 20日 21日 22日 23日 24日 25日 26日 27日 28日 29日 30日 31日

③ 明け方 9時頃、新刊の 新刊(10月) 11月 12月 13月 14月 15月 16月 17月 18月 19月 20月 21月 22月 23月 24月 25月 26月 27月 28月 29月 30月 31月

2000年 大進 文章に 10月 11月 12月 13月 14月 15月 16月 17月 18月 19月 20月 21月 22月 23月 24月 25月 26月 27月 28月 29月 30月 31月

西村

田中

1985. 10. 23 ~ 24. 天気 快晴 → ベタ曇 → 晴

本日は平日だから。昼間、あまりに天気が良いので。ここにもってきた。月齢は初月のため月が沈むのは12時半頃。それから、ルーの写真を撮って帰るべーと思っていた。

ところが向と月が沈む前(11時)から。急に全天が曇り。2~3時頃にはベタ曇りになってしまった。

本日は朝8時から仕事のため。3時にはここを出て帰京しなければならぬ。

まったく、空の気まぐれには困ってしまう。

結局、今回も一人にもできません。……。

あーあ。

(10.24. 朝 3時記)

S.60. 11. 3-4 快晴. 風強し

大学の後輩2人を連れて来ました。月が大きいのは残念な^か天気は良^かかった。(晴男はたれだ!!)

ここに来て大事なものを忘れていた。自作のコントロールボックス。これで、極軸をたいして合わせる事ができず、申し訳のないことをしてしまった。

赤道儀に変な所がある。赤経軸のモーターからカクン・カクンと異常音がするので、フタ(本体西側)を叩いてみた。はつきりわかる。ウォーム軸が固すぎてギアが回らないように思う。フタにさわって、かき回しておかしさを直すので、調整はしたかった。朝、もう一度見たら、なぜか動いた。どーして?。

4日 AM10時

11月9~10日 くもり、霧。

8月以来34月ぶりの「いわき」行です。
観測所の機材を使用して、ハレー彗星の撮影を予定していたが
又しても、**くもり!!**。この観測所日誌を読んでも、 $\frac{1}{4}$ ~ $\frac{1}{4}$
の [] 君来所以外は全部天候にめぐまれていないようだ。
何かメンバーのほとんどが、両男のような気がしてきた。

今回こゝは暗れると思、てハリキッて来ただけに、ガッカリです。またこの
観測所では一枚も写真が撮れていないという異常事態
またもや平ぶうで帰ることになりそう... いやになりました。

11月8・9・10日

8日 15時に**出発**。日立南IC付近で雨が降ったようで、心配になった。
いざなり (アハハハ) 19時30分に到着。天気は**ド快晴**、☆休んでいる
うちに、小雨がふってきた。そして20時半頃、再び晴れたのだが、湿気
が多量。ハレーをさがしているうちにレンズがくもり、写真どころでは
ない。350型の極軸合せに専念すべく、あれこれやっているうちに
0時半頃、またまた**ベタ曇り**。気温12℃西寄りの風弱い。雲は
時々切れるが、こんな状態では立ちあがらず、2時半でやめた。

朝6時半に西村氏のTELで起こされた。外を見ると**ド快晴**では
ないか!! まったく気まぐれな雲にはいやになる。

その後の事は [] 氏の文章を参照。

10日 12時30分 記

11月10日。天気 **ベタくもり** 田中 []

きのうから小諸に行き、本日はいわきと相変らず
のがしただ。

今回、マニコパル、コントローラーはなんとか、厚くように
はったようで、**メダタ、メダタ**。

とこそが、どうも子午線が合っていないようで、
極軸合わせ以前の問題だ。

今日から、[] さんが、滞在するので、彼に子午線
合わせを依頼することにした。

次回来る時は、クレーンを呼ばなければ"ないない"
ようだ。

まだ"まだ"。問題は山積だ。---

11/9(土) 10(日) 11(月)
曇(星) 曇→雨→晴

高 不 正

マルコポーロは何を求めて東方へ旅立ったのか?

現代のマルコポーロたち(就業離脱願望者達)は、なんと、あのハレー彗星を、併修という名目で(私以外の3名は、なんと理科の先生なのです)、乗っているのだが、私は、古典のセンセーという立場のため、(隠意)あるいは(脱俗)、はたまた「玄離」の訓練のため、仕方なく俗世の縁にハレー見聞にやってきましたのである。

自宅では10月下旬から10等細ハレーを(私の目測では11等であった)捕えていたが、この10日はこの増光には望むべきものがある。10/10夜の観測では、8等よりも明るく思う。いわきでの今回の目的は、とりあえず「40cmでハレーを見る」というアソビ的発想である。同行者のあんぐりとした顔(あれを望遠鏡とは思わなかったらしい)を見て、^{40cm}口径の偉大さを認識した筈である。

(それにしても、朝までよく暗れました。きっと[]さんたちも、雲を連れて来てくれたのだと思います。)

[40cmについて、
マニアルのとき、立ちあがりが必要そうです。]

深夜、満天の星空のもと、命がけの子午線出しをした。50人と出てからは、万々歳です。

さて、あとは何を書けばいいのでしょうか。急いで手帳から西村さんと[]さん! 最高の写真を撮らせてはすゝな天を拝したよ。

不慣れ予定は、11/22日です。星空観望団を組織し、やってほしいと思います。何年ぶりかで、写真も撮ろうと思います。

ハレー、ハレー、いかに、晴天にも戻らした子へ!!

* 同行者一名、2階列落巧なると、あはれとハレーに千載一遇のチャンスに大いに喜び、大勢に引かれて、あやうきことなり、来所の神工満見、ゆめゆめ油断あることなきが、
「14日」には、星も降り、人も降り、なほと世の中での出でずんことおぼろけ
え、22に記して、余人のための警告をせん。(落下星)

11/9(土)

田中さんと家族4人で来所おいて、この曇空観測所
に近づくにつれて霧の海前とせつほうせつかく家内を
て来たのに、すばらしい星空を見せられなくて残念! でも朝早く
起きて、近辺をさん歩したのかとて、気がいいようで、本人はそれ
なりに満足して帰って行かれました。子供達はまたにも星が見られ
なくて(前回来た時も大雨の中でした)。

11/10(日) 田中、西村 [] の三氏が帰ったあと、中村さんと
4人と昼食と夕食とものがちの青野食堂へ食べに行
な帰り道でトシヤブリの雨、5人ともさようもたゆがとガ
ツリ、5時ごろからフテ寝をはじめして、7時ごろにな
て一時空が晴れたが、観測の準備を終えると全日にわ
かたき曇りトシヤブリの雨、ちょっと星が見えなから
本当にガツリしました。そのあと12時すぎから、快晴になり
午前4時ごろまで観測をした。市村さんにハレー彗星を
20cmの反射鏡で、見せてもらい、またまた彗星の姿は
とても鮮やかに深かった。そのあと写真を取ったりした。12cmの
双眼鏡で、ふくらう星雲を見たのがおもしろかった。12cmは
こんなによく見えるものか、とあきらめてほれ直した。10日の子午線出し
もあつた。

11/11(月) 息子すばるのたんじょう日であり、父親見はハレーの観
測に来て、いってやれないうが、すばるの近くを通るハレー彗星
の写真を息子の9才のたん生、いってやれないうが、
うまく写せるといいのが、午後4時ごろ赤旗写真部
の人が、ハレーをとりか来た。さあ、後すぐ現像サイ
フエツジで、セロ合おせした12cmフローライトは、ヒョホ
ケルなつていた。あきらめてマグ=ファイターで合おせ直し、今夜
はなんとか見られるものか、午後7時ごろまで雨なつた
ので、レンズにすぐゆがかり、1日ごとには、フローライトでゆ
りかしてはなすなつた。午前4時ごろに寝た。

北極星を眺めて子午線を出した。

午後2時ごろ、くみ取り屋が来てくれた。

11/15~17日 天気時々曇りが16~17日は快晴

やっと晴れました！15日PM11.00に到着 時々雲が通過したものの 目的のハレーを写す事ができました
ハレーは 7X50の双眼鏡で私の目でも案外 プリアデスのそばを通るのを観測でき いわき観測所での初めての観測らしい観測となり 満足でしたが しかし一方で 共同観測所としての多くの問題点が-----

11/15~17日 左に同じ 流星とビルと000が大好きな星旅人
数日前から相模原地区で 7X50双眼鏡でハレー彗星が"見える"という話を聞き 私も2度程 10X70でチャレンジしたがダメでした。結局ハレーはいわきで"見る"ことになりました。

天気がよかつたのは 案外も雨が来なかったからかな!? 00氏に感謝する次第です

2日連続晴れたので 思う存分 屋外観望が出来たし、15~16日にかけて 流星屋が"いっぱい"来たし、久しぶりに固定撮影などしたので 満足な時間を過ごせました。

ただ残念だったのは あまりに晴れたので ずっと起きてたので あけ方の宴会で ぬすけがおそい ビールをあまり飲めなかったことです。

以上

11/22(金) ~ 11/23(土)

市村

仕事の日合で浦和を10時頃に出発。空は曇っているが、静養も兼ねていわさへ行くつもりであった。(だから、雨でもかまわなかったのだ。)

卒業生を連れてくるはずであったが、40cmが使えないことや、天気が悪いことなどもあり、いちおう、ひとりで来ることにした。

それにしても、40cmの方は残念ではありません。私は、観望が主たる目的だから、晴小間があれば、1つこう楽しめます。また、自分自身の器材も揃っているので、観測所の器材を借用する必要もありません。(しかし、メンバーの中には、住宅の環境や手持りの器材、そして自動車の有無などのため、この「いわさ」でしか、美しい星を見たり、写真を撮ったりできない人が、1つこういるはず。そういう人下りにとっては、あの40cm鏡は、とても大層なものであるはず。今、ハレー彗星を見られないとすると、残念に思う人が多いと思うのです。この観測所も、ひとりの目的として、ハレーを観測する、というところがあつたと思うのです。そういう人下りにとっては、失望も大きいことだと思います。

さて、天気が悪いようですので、「共同観測所」について、自分の考えるところを書いております。メンバーの皆さんは、人がいから、他人に向けて、きついことは言えないようです。もちろん、私も、できる限り穏やかになまごころのか一番いいと思うのですが、この際、誰かが口を切らないと、先づ、困ることがあると思っております。

① 機械をあまり、いじらないこと。(コンピュータも含めて)

あれ、知識のない人間が、機械部分を分解したとて、直せるはずがない、というのを自覚してほしい。今回のことも、原因のひとつは、そこにあると思う。素人は、絶対に手を出さないこと。(もちろん、私は手出しはしませんよ。) 大切な器械ですから、試行錯誤して習得することは、断じてつしむべきです。勝手なわからず屋に教えてもらって動かせるようにするのが一番だと思います。

また、コンピュータの方も、使い方を教わってから使うべきだと思います。

② 他人の器材を借用するときは、一応、了承を得ること。

観測所にある器材は、共有のものは、今のところ、350の架台だけで、それ以外のものは、個人のもので、その、個人のものを使う場合は、一応、了承をとり、(相手がいなければ電話でもいいとは思いますが)

大切に使用してほしいと思います。自分の荷気ない使い方が、所有者としては、いやな使い方であるかと和らしません。誰しも、自分の器材「大切」は「かれ……」ものなものです。

また、カメラやその他、いろいろな部品も置いてあります。せめて、借用せざるをえないときでも、必ず了承をとりましょうと思っております。

原則として、「個人のもの」には、手をつけられないことが大切だと思います。

③ メンバー以外の者に器材は借用させない

私も、1つこう人を連れてくる方だと思いますが、器材は全部持ってきてもらっています。作業小屋に泊ってもらって、必要があれば、「見せるだけ」で器材を使わせていません。使う場合でも、私個人のものを使わせてもらっています。観測所のメンバーの行動に支障がでてくれば、もちろんのこと、それ以外の場合でも、貸すことは、厳禁とすべきです。

早く、観測所の持ち物を整備し、そこを自分たちの器材にやっつけていこうか、いいと思います。できる限り、外部の人間は、少ない方がいいので、私自身も自覚したいと思っております。

以上の他にも、いろいろとありますが、共同、共有である以上、制約は多いはず。我慢する必要も、時として、あるでしょう。でも、それは、仕方ないことで、お互いが我慢しあう、相和立場を考へる、そういうことが当然要求されてくるわけですから、そういう意味では、みんな、もっと「大人」になるべきなのではないでしょうか。

さて、さて、天気が悪いはずでしたが、午前3時から4時から快晴と変わってしまい、日頃の、冷静さも、何のその、8cmの双眼鏡で冬の川を観望しました。今回は、20cmは持ってきていないので、ただただ観望のみです。少しでも晴小間があれば、見られる、ということが一番、最高ですね。ハレー彗星は、西の山の上で、大きく見えました。もう、6等級でしょう。大きさも、10'くらいは十分ありそうですね。

8cmの双眼鏡は、11倍というわけで、かなり無理があるようです。アイピースも、41mm-24mmでよくありません。しかも、細かいことを言われれば、これには、見えていない、~~と~~と思っております。(しかし、買うことは、まだありません。絶対にです!!)

11/23(土) ~ 11/24(日)

市村

午前10時半起床。快晴。

食事の後、観測所の2階へ昇り、清掃。一人でルーフを半分ほど開き、双眼鏡でまわりの景色を観望。

あまりにも好天気なので夜具を全部、天日にさらす。今夜はふくくとしたふんを寝られそう。

棚倉へ遊びに行こうと用意をしてみると、車一台やってくる。中学生とその父親らしきオジさんひとり。聞くと、田んかトリクラブで、このこと(観測所の北)を聞いたので見学に来たとのこと。カントリークラブには、地主さんの親戚の人が勤めているらしいが、全く困ったものです。中学生は、勿米の子で、天文部だとのこと。一応、地主さんの知り合いの紹介という事で、見学させました。父親はカントリークラブの会員で、土建屋さんです。このあたり工事、ほとんど手がけているようで、何かあったら、早くしてあげますよ、ということでした。名前も聞きませんでした。地主さんに聞けば、すぐにわかるでしょう。

夕方、観測所に戻ると、月が美しい。さっそく双眼鏡でハレーを観望。月があるので、遠くハレーがよく見えている。

暗くなったので、12cmのフローライトで月を見る。け、こ、う、美、し、い。久しく、月ほど見えていなかったの、で、せ、や、感、謝。

そういえば昼間、西村さんと電話で話したけど、12cmのフローライトを持ち帰りというのだが、仕方ないこととはいえ、少し残念だ。だが、自分の知らないメンバー以外の者、それを使用しているのを知ったら、誰でも嫌はれると思う。信頼関係が、あると、便宜が、成立するのだから。このあたりを、素人に、な、い、限、り、共、同、観、望、所、は、成、立、て、り、か、な、い、と、思、う。各、自、考、え、る、必、要、が、あ、り、ま、す、ね。

8時からいから、月の~~ま~~まわりに、大きな傘が、か、か、う、で、天、気、が、悪、く、な、る。回、復、の、見、込、は、な、い、よ、う、な、の、で、酒、を、飲、ん、で、寝、る。

10時半頃、地主さんが、中学生を連れてきてきた。天気が悪く、な、い、こ、と、を、説、明、し、た、お、と、月、を、見、せ、て、あ、げ、た。月、が、出、て、い、る、と、星、が、見、え、な、い、と、説、明、し、て、も、中、学、生、に、は、ほ、か、な、か、理、解、し、て、も、ら、え、な、か、っ、た。

24日(日)は、朝から雨が降っている。トタンをうたつた音は、なかなか風情がある。天気予報では、今夜は雨から、所によつて雪ということだ。停電かどうか、迷っている。午後、2時21分です。

ほんと、外は雪にかわっているではないか(2時22分)

びっくりしてしまいました。

早く帰らないと、チェーンがない。

明日11月ですよ。

早く片着けなくちゃ。

おでんが、鍋に11月はあるの。

雪だ、初雪だ。

ビールは、おいていくか...

どれで、今頃、雪止むの?

2年分の悪夢が、おとされるようだ。2m近い雪...

どい、え、す、お、で、ん、を、か、と、な、い、合、へ、で、帰、り、ま、す、か...

ビール2本置いていきます。勝手に飲んでいいですよー。

次は、12/8、12/15、の、2回、米、を、予、定、さ、す。

ローが、こ、れ、れ、で、む、い、ち、き、の、空、は、い、い、で、す、よ。

双眼鏡を持、て、来、ま、う、し、よ、う、で、す、か。

by. Yoshimi

12/1 (日)

西村

昨夜午前 12時半すぎ 11時着。東に17月27日。頭の上にはAが
3つある。星は3等星まで。11時を過ぎると2つに減
りて。7時20分ごろ2.11星を1分ほど見ると、2.3分、半。27.
397へ。赤外線カメラで2本を撮って1分ほど。仕事から帰る。
今回は非常に寒い。息を吐いた。

星には11時すぎ。実際に350mm赤道儀が11時ごろの状態で
見ると非常に残念。なぜか自分の判断を合解してはいたのだが。原因が。
(重たい原因) 正確に星の位置を知る知識と工具があまりない。星の
位置。3.5mmカメラ(12月4日~7日)に使用されたカメラの位置が。この
時に全く違う。星の位置は非常に正確に決まっていた。11時ごろの星の
位置。中心にはある。観望する為に大金を取った人たちは多量には
はかた。11.1星を一度。40mmで見た。この人もいた。残念。
11時。11時。F2-125を一時停止に持って帰ります。理由は。色々と
あるけれど。報告(12/22日)の時に。もう一度。観望所の準備は
とも併せて。前回は。お話しをしたいと思います。

12/1

ドライブに来ました。

西村さんが11X70のファインダーでハレーを入れようと
したが。月が明るかったせい。それとも西村さんが
エレクターのためか? 見つけられませんでした。
朝9時に起きて。望遠鏡をおろして11時30分。帰り
ます。天気はド-----快晴ナリ。

12/14 15

13日の金曜日の時点では 明日の天気がよくないとのことで いゆき行きは
中止しようとの連絡が入り ガッカリ! 今年 最後のハレーを見る機会が
あるし、この日の為に 秘密兵器も準備していたのだが、それが使えなく
なってしまうが。この秘密兵器はハレーと同じで一生涯一度しかおめ
にかかれない代物だから 余計に無念さが残る。

そんなことでガッカリして床につきネ。

14日の朝である。先生から電話がきて 突然 行こうという話し
になる。天気の状態がいいし、とにかく行ってみようということになり。

先生に電話を入れ 今日 いゆきに3人で来た次第。

いゆき天体観測所へついたら 夜8時前、それから急いで準備して
9時頃 秘密兵器でバンパッシュで撮影。
ハレーと撮る。11時前にハレーはもう撮れない状態になったので
他の天体を撮り、雲が出て来た 明日方3時頃 終わりにして、酒盛り
をしてネマシタ。それにしても 秘密兵器はスコイ。
それに 双子座流星群がキレイで 満足な一夜でした。

14日 昼に帰る予定でしたが ハレーをもう少し状態で撮りたいのと
昨夜撮り忘れた M31 を撮る為 今夜も残り 12時頃 帰ります。
帰りにこの日誌を書く余裕がないので あおのドライブインで
書いてます。

追記。秘密兵器 = ニコン ED 300mm F2.8じゃなくて F2
です。私が買ったのではなく 某ルートを通じて今回借り
て来たもので 7月分 もう二度と使えることはないでしょう。

12月14~15日

13日の夜 荷葉のイカ電話があり 週末は天気がくずぬるが中止にしてと一言車に乗った。しかし新妻氏がニコンの300mm F2を借りておれを待つていくと言うので行くだけに行つて見よと相成った。

東京を出る時は雲が多く不安になりながら車のラジカセのアンテナもスコープも入れ準備万端で出発。

いわきには午後8時少し前に到着。すぐセッティングに取掛かる。そのあいだにいわきで初の"ハレ"を6mm双眼で見す。核がはっきり見えコマも思ったより広がっている。気のせいか底多しきもか感した。管さかかもしれず。20倍で見ると広がりかよくあつたが60倍になると核はよく確認できるがコマがあわくやつて広がりかすくすなご様に感じす。

今回ニコンFを借りたがズームレンズを付けておきおで標準レンズを新妻氏から借りたが機械・レンズに合わせたいボラーを準備しないと何も出来ず。キャノンのボラーは好きだが今回は50mmと85mmで撮った(固定でのみであった。(α12をほめて [redacted] さんゴメンサイ!!)) "いわき"公認のカメラはニコンにしよう。

12月14~15

天気:快晴時々雪雲 15日16時からの雪
気温:最低-11°

12月10日1人で行きか波山に行き路面が凍っていたためスリッパ(11日に会社を休む)と在りJAFのお世話になつてしまった。これも悪魔の星ハレ彗星の為で今回のいわきとそのうらみをはSのために来ましたがR289が一部凍っていました。そして雪が降りこうなると天文も命がけです。

それにしては300mm ED F2はスゴイ SR1600で最高5分おきと25で。パンク、シャッターを切るとても。星や彗星を写しているとは思えません。しかし西暦は1205。一生の内これ最初で最後でしよう。15日17時少し雪が降り。また今晚晴れるかどうかわかりませんがマーンをまいて24時には帰る予定。明日仕事といつのた...

12月15~16日

14日(土)の夜から来るはずだったが、天気予報があまりよろしくないので1日延期した。(おれ14日は快晴とかな。思はずりになり13日。(残念)やはり予報Fも、経験を重ねるべきだった。

15日(日)午前4時は「いわき」にて(1)天気を確認。1時に天窓を友人と出発。快晴であったが、棚窓の明け方雪。観測所へ着いたときには本降りとなり。前日から待機する人は撮影でまずに帰るとなつた。

3人が帰ってから快晴となり。朝まで観望。冬、銀河がきれいだった。米沢氏と12mmを拝借しようと思ひ、カは300mmで2階へ上つた。超人(1)の努力カメラ(α12はスリッパ...) 2階へいこうとあけさせた。とれまに観望できた。(米沢さん感謝はラマ...)

12mm x 2階は2階で、その真面を突進して行つた。正月の2階を見つるこいでもおれ...

夜明け前、7時~8時ほどハルハルナイト彗星を確認した。中央星が強い4'くらいの大きさだった。

今回は気象や星見ドライブ。疲れをりやすには双眼鏡を十分準備した。予備11xの双眼鏡も。15日、スゴイとFと思ひます。今回は友人の車(前日、2階へ上つた)は15日(16日)に来た。ラマドライブです。

yes shun

1985. 12. 20 ~ 21
(金) (土)

田中 [redacted]

○久保り (11月) のいわき行先。

ハレーを求めた 11月 ~ 12月は平日に小諸行が秘^ひいていたので、少々の疲れきみ。

明日 21(土) ジカゲが 350型^の ~~を~~ 道11に^もくるので、その立ち合いの必要のため。

仕事が終わりのんびりしていたので、11が遅くなってしまった。

ここに着いたのは午前2時頃、北西半分はぶ^ぶ雪の雪雲が降り、時々雪が舞っていた。

道路はほとんど凍結せずにチェーンで走っていた。

久保り仕事(昼食の)した後に戻ると、さすがに朝まで残っている元気がない。

(3時前 就寝)

1985. 12. 21 ~ 22
(土) (日)

田中 [redacted]

11時前にジカゲの社長と奥さんがホテルに12時来所。女中の寒さに驚いていた。

[redacted] 氏の分解したギヤ箱を見て、「よくまあこまごまバラしたもんでおね、と、おまた驚きの顔

今回の350バラバラ事件の原因は、どうもギヤボックスの強度不足にあるようだ。

350を搬入したのが夏場だったので、ギヤ回りが金属収縮してきつにかたくなり、それに対して、ギヤハンドの部品が、耐え切れなくなったというものが、本日のようだ。コンベヤークによる120倍速遊いもそれに輪をかけては、真達いなさそうである。

夕方、LPガスや薪車を買出し、食事、温泉などに回り、戻ってきたのが20時ごろ。ちやうど、

[redacted] 両氏が到着。2000の試写をするのだという。

夜 350型で極軸を合わせようとしたところ、市祥ギヤが回ってはいかに気がついた。113113点検してみたらまたまたギヤハンドが原因のようだ。困ったものだ。

1985 12 21~22

(金) (土)

21日 先生とアムで待ち合せて 8200を受取り

いゆきに向かう。あまり急がないので 下を通ったら
6時半かった。

いゆきについたら あがりかについていないので 誰もいない
と思ったら、荷物があがる。私達が ついて間もなく 田中さん
が 食事して戻ってきた。

8200を買ったはいいいけど なかなか手ごいれい 相手のよう
いくと シュミット系より 使いやすいはいいえ、 使いこなすに
は しばらく 時間が かりそうだ。

私の方が 脚が ないのて 当面 先生との共同で
(お分す〜と)

使用していくことになるであろう。

月が 沈む 2時頃には どうにか セッティング、ピントあわせの
準備を おえ、あとは 月が 沈むのを 待つばかりとなっ
て ひと休みして すぐ 帰るもって きて しまい 残念ながら
試写は 出来なかった。

先週来た時 今年 いゆきにくるのは 最後だと思っ
たのであるが 来た 来た (8200が 入手出来たのと

先生に テンプレーションされて なのてす)。

今年
今日こそ (いゆきでの 最後の日になるでしょう)。

来年は 正月の3~5日にかけてくる予定。

(いゆきでの 1985年よさよなら
そして いゆきでの 新しい年 1986年が
素晴らしい年になりますように)

1985 12 21~22日

夫気 快晴のち曇り

今度は 今年最後の いわきと 前回は 忍びながら
また 今回来ることと なって しまった。

それは、新妻氏が 戻った 8200が 予定より 大分
早く 納入 されたため、 月が 22日 2時に 沈めは
3時間 試写が できる はず だったが、 月が
なくなる と 同時に ベタ曇り になって しまい
ピント など、 すべて 調整 したのに、 コマも
早せ なかったが、 それにしても 8200を 使っ
こなす のには 相当の 時間 と くれが 必要と
思われる。

22日 PM 0h 30m 帰る。 PM 5時から 今日
新大久保で いわきの 総合 忘年会 がある。
次回来年 正月に 来る 予定 がある。

いったい 今年 私は 何回 いわきに 来た ので
ある のか、 自分でも わから ない。
それでは、 いわきの みなさん よい お年を!

1985. 12. 31 ~ 1986. 1. 1

田中 [redacted]

[redacted] と「いぬき」で「新年を過ごすべく」
離婚を覚悟してまたまたやってきてしまった。

雪はほとんど降っておらず、12月中旬より
格段に暖かい。

東京を出たのが「13時過ぎ」で途中「買い物
など」して時間を食ったため着いたのが:

18時頃。幸いにして曇っていたため

25cm ライト; 16cm リミットの組み立てを

人ごりもっていたら、雲が切れ始めハレー
が見え始めた。まあ大変、なんとか「コマ」を
撮りたいと気はあせるが、結局は「コマ」も撮
れずに雲間に消えて行った。

薄雲を通して見たハレーは尾もはっきりと
見えただ「い」が成長してきたようだ。

1985. 12. 31

いっけなく早く出て6時すぎに帰ってハレーと久しぶりに
対面した。あまり明るくなってはいなかったが尾が少し見えた。
写真に写す時間がなくて目で見るだけだった。22時ほど
他の写真を写したか、写ってしまおうか、そのあとは田
中さんといっしょに350の極短くあわせをした。が南7
時には「あ」でいい合ったはずはない、さちんとかえるのはいつの
ことか。

1985年10月

1985年9月

日	曜	月	日	天	来所者	内 容
1	火					
2	水					
3	木					
4	金					
5	土					
6	日					
7	月	●下弦				
8	火					
9	火				高橋, 西村	観望
10	水	☁一時晴				
11	金					
12	土	☁曇			田中, [redacted], [redacted], 西村	赤道儀調整
13	日					
14	月	●新月				
15	火					
16	水					
17	木					
18	金					
19	土	☁/晴 ☁			[redacted] ↓ 西村	240-3-調整後テスト
20	日					
21	月	●上弦				
22	火					
23	水				田中	調整は少々!
24	木					
25	金					
26	土					
27	日					
28	月					
29	火	○満月				
30	水					
31	木					

日	曜	月	日	天	来所者	内 容
1	日	☉		☁	田中 [redacted]	コンパ-1-調整
2	月					
3	火					
4	水					
5	木					
6	金					
7	土	●下弦				
8	日	☉				
9	月					
10	火					
11	水					
12	木					
13	金					
14	土				西村 [redacted] 西村	コンパ-1-接続
15	日	●新月			[redacted] 田中	
16	月					
17	火					
18	水					
19	木					
20	金					
21	土	●上弦			[redacted] 田中	
22	日	☉			[redacted] 田中他	コンパコンパ-5-接続, 自動現像機投入
23	月					
24	火					
25	水					
26	木					
27	金					
28	土					
29	日	○満月				
30	月					

1985年8月

日	曜	月	日	天	来訪者	内容
1	木	金	1	○ 満月		
2	金		2			
3	土		3			350型赤巻機 搬入
4	日		4	晴 CE1 0304	○ [redacted] ○ 田中	
5	月		5			
6	火		6			
7	水		7			
8	木		8			
9	金		9	● 下弦	[redacted] 田中	
10	土		10		[redacted]	
11	日		11		[redacted] 田村 (16時32分)	1985年度総会
12	月		12		[redacted]	
13	火		13		[redacted]	
14	水		14		[redacted] 田村 (12時32分)	
15	木		15		[redacted]	
16	金		16	● 新月	高橋(由) & 他10名 ⑧ えい天合宿	
17	土		17			
18	日		18			
19	月		19			
20	火		20			
21	水		21			
22	木		22			
23	金		23	● 上弦		
24	土		24			
25	日		25			
26	月		26			
27	火		27			
28	水		28			
29	木		29			
30	金		30	○ 満月		
31	土		31	CE1.	○ 田中 [redacted]	・ J=10-30の保証 ・ 110722, 247411-2の接続試験